

# 世界に行ってみると、こんなトコだった！ inラオス

①

**目的:**ラオスの地理的位置を確認し、ラオスと日本(沖縄)に共通するもの、ラオスにしかないもの、日本(沖縄)にしかないものについて考えることで、世界への関心を高め、異なる文化を尊重する態度を育てる。

**対象:**小学3年生～中学生 1グループの数:4～5名

**所要時間:**45分

**準備する世界地図、ラオスと日本のあるもの・ないものクイズカード(資料～)、ワークシート(人数分)**

**学習の流れ**

進行	学習者の活動	進め方とポイント
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラオスについてのイメージを話し合う。</li> <li>今日のめあてを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見が出にくい場合は、食べ物や住まい、季節など視点を絞って意見を出させる。</li> <li>この時間にどのようなことをやるのか(ねらいやみんなと考えたいことなど)を説明する。</li> </ul>
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラオスの位置を世界地図で確認する。(5分)</li> <li>黒板に貼った15枚のカードを見て、ラオスと日本に共通するもの、ラオスにしかないもの、日本にしかないものの3つにグループ分けをする。 ※自分で考える。(5分) ※4～5人のグループに分かれ、話し合っカードを3つのグループに分ける。(5分) ※グループでどのように分けたのか発表する。(3～4グループ)(5分)</li> <li>カードに書かれていること、解説を聞く。(10分)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童一人ひとりに地図帳を持たせて、まずは自分で調べてみる。それから、全体で確認する。</li> <li>黒板に貼ったカードを全体で確認して、まずは自分でカードをグループ分けする。</li> <li>それぞれのカードについて、どのように分けたのか理由を考えておく。</li> </ul> <p>※まず、個人で書き出して、その後グループで話し合いをさせても良い)</p> <p>※グループの発表は、しっかり聞き、自分達のグループをどこが相違点なのか確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カードを分け終わったら、それぞれのグループの回答を聞き、解説をする。</li> </ul>
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>初めて知ったこと、感想をまとめる。</li> <li>感想を共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気づいたこと、考えたこと、感じたことを共有する。</li> </ul>

**学習後の展開:**

- ラオスの表面的な特徴はとらえたので、深くラオスを知ることができるように、フォトランゲージを活用して教育の課題や不発弾などの問題について考えていく。
- 身近な食から世界に目を向け、日本とラオスの共通点を探しながら、様々な食習慣などを尊重できるようにする。

ラオス・日本のあるものないものクイズカード(全14枚)



マンゴスチン



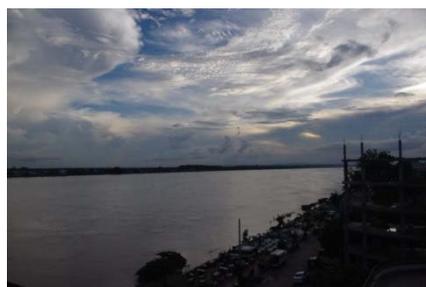
売店



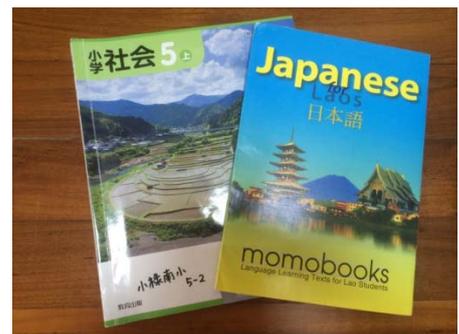
お米



シン (巻きスカート)



メコン川



教科(国・算・理・社など)



たくはつ

托鉢



パパイヤ



泡盛 (あわもり)



うちなーんちゅ



日本車



保健室



海



こま

<使い方>

- ・コピーして使います。
- ・各グループに1セット用意します。
- ・黒板用も拡大して印刷すると便利です。

出典：泡盛・・・<http://www.shochu-rank.com/>

こま・・・<http://www.hyakuchomori.co.jp/toy/c/outdoor/skill/>

<解説>

- ①マンゴスチン・・・「果物の女王」とも呼ばれ、果実は美味。中は白くライチの用な味。沖縄にはない果物である。
- ②売店・・・ラオスの学校の昼食時間にやってくる売店。ラオスの子ども達は自由に買うことができ、こういった食習慣から虫歯の問題も深刻になっている。
- ③お米・・・ラオスの主食であるカオニャオというお米で蒸したもち米である。ティップカオという小さな竹の籠に入れられる。日本の米と異なり、手でにぎってもくっつかない。手で一口ほどの大きさをとり、小さく丸めてから食べる。
- ④シン・・・ラオスの女性が身につけている巻きスカート。様々な色色や模様があり、小さい子どもからお年寄りまで身につけて、生活の一部となっている。
- ⑤メコン川・・・ラオスとタイの国境になっている大きな川。全長は1898kmに及び、ラオスの農業と漁業を支えている。
- ⑥教科・・・日本の学校は国語、算数、理科、社会、英語、家庭科、体育、図工など多くの教科があるが、ラオスは国語（ラオス語）、算数の主要教科と理科や社会、道徳など複数の教科を織り交ぜた「身の回りの生活」という3教科で構成されている。
- ⑦托鉢・・・ラオスは仏教を信仰している。ラオスの男性は雨季の3ヶ月間、頭髪を剃り、法衣を纏ってお寺で修行の日々を送る。最近では1週間など短縮する人もいるが、仏門に入ることが男子の義務と考えている。托鉢は、毎朝6時前にオレンジの法衣を纏った僧侶達が街を巡ることである。ラオスの女性達は、托鉢に巡る僧侶達に、もち米や金品を送る。
- ⑧パイナップル・・・熱帯地域に生えている植物。ラオスと沖縄に共通している。
- ⑨泡盛・・・米を原料として、黒麹菌を用いた蒸留酒である。ラオスにも、ラオラオというお酒があり、もち米を蒸留させて作っている。ラオスと沖縄のつながりを感じさせる。
- ⑩うちなーんちゅ・・・沖縄の人を方言で表したこと。ラオスで働いている沖縄の方で、中央は大城洋作さん。「難民を助ける会」として、ラオスの人々の手助けをしている。障がいを持っている方でもできる、なまずの養殖やきのこの栽培などを支援している。夕方からは車いすバスケットの指導者として活躍している。
- ⑪日本車・・・ラオスで発見した日本の車メーカー。トヨタの他にも、日産やスズキなど日本企業がラオスに進出している様子が伝わる。
- ⑫保健室・・・ラオスの学校には、保健室の設備がほとんどない。日本の学校にはあたり前にあるが、ラオスの学校ではあたり前ではない。
- ⑬海・・・沖縄の人々にとっては身近な海だが、ラオスは内陸国のため海が面していない。ラオスの地理的位置から、日本と共通するかどうか考えさせる。
- ⑭こま・・・日本の昔遊びのひとつ。ラオスの子ども達も同じ遊びをするかどうか考える。ラオスの子ども達は手作りの木製のこまで遊んでいる。

出典：ラオス観光公式ガイド 2013年

ウィキペディア

(閲覧日：平成28年1月27日)

ラオス行ってみると、  
こんなトコだった！



Class ( ) Name ( )  
1. ラオスと沖縄を比べてみましょう。そして、カード分けや映像、先生の話などから分かったことを裏にまとめていきましょう。

ラオスにしかないもの	沖縄にしかないもの	ラオスと沖縄に共通しているもの

2. 今日の授業で感じたことをまとめましょう。

(1) 初めて知ったこと

---



---



---

(2) ラオスの人々の様子をみて、あなたが考えたことは何ですか？

---



---



---

ラオス行ってみると、  
こんなトコだった！



Class ( ) Name ( )  
1. ラオスと沖縄を比べてみましょう。そして、カード分けや映像、先生の話などから分かったことを裏にまとめていきましょう。

ラオスにしかないもの	沖縄にしかないもの	ラオスと沖縄に共通しているもの
マンゴスチン 売店、シン メコン川 托鉢	保健室 沢山の教科 海	日本車 泡盛、お米 こま うちなーんちゆ パパイヤ

2. 今日の授業で感じたことをまとめましょう。

(1) 初めて知ったこと

沖縄と全く違うところもあつたが、意外と似ているところがたくさんあつたのでびっくりした。  
独自の文化があるんだなあと思った。

(2) ラオスの人々の様子をみて、あなたが考えたことは何ですか？

テレビでみた限りでは貧しそうで田舎のイメージだった。けど、ラオスの人々は楽しそうでにぎやかだった。あと、手先が器用なことにとってもびっくりした。